

一般社団法人渋谷の遊び場を考える会
設立趣意書

現代社会は、子ども達がのびのびと遊び育つ環境とは言い難い状況にあります。

渋谷では空き地がなくなり、子どもの遊びを主な目的とした公園も、車の侵入を止め住民のために開放される遊戯道路もめっきり少なくなっていました。放課後の大切な居場所だった学校の校庭も、他の活動の割り当てが決められたりして、子ども達が自由に使える場所ではなくなりました。

都市の発展と変化が共に押し寄せてくる中、子どもにとって大切な「三間」（“さんま”＝じっくり遊ぶ時間・思い切り遊ぶ空間・一緒に遊ぶ仲間の3つの”間”のこと）を満喫できずに育っていく状況を、大人達が作ってしまいました。その変化が、地域と子どもとを分断し、子育て中の親子と社会とのつながりを薄れさせてしまっているのではないかと。そんな不安を抱いた私たちは、子ども達がのびのびと遊べる環境を身近な場所に作りたく、「渋谷の遊び場を考える会」の活動を始めました。1998年のことです。

「渋谷あそび」の願いは、全ての子どもが地域の中で、地域の方に見守られながら、のびのびと育っていくことです。そして、子どもがのびのび育つためには、外遊びのできる環境が非常に重要だと考えています。

外遊びは、主体性を育む要素であふれています。子どもにとっての外遊びは、自然の環境の中で、自分自身が遊びを見つけていくことから始まります。主体性が尊重される社会を作るためには、子ども自身が「感じる」「考える」「決める」そして「遊びをつくる」という「遊びの当事者」になれることがいちばんだと、私たちは考えているのです。

そして親や周りの大人にとっての「子どもとの外遊び」は、子どもを「待つ」ことから始まります。地域に、子どもの主体性が育つのを待ってくれる人が沢山いたら、見守ることのできる場所があちこちにあったら、子ども達はどんなに安心して遊ぶことができるでしょう。

そんな心ある大人達が集まって、小さな声かけから始まり、子どもの成長を通して未来の環境を創造していけたら、どんなに素晴らしいことでしょうか。そうやって、地域と共に子育てできる場所や社会を作っていくことで、子ども達も大人達も共に成長していけるのではないのでしょうか。

渋谷あそびは、子どもがのびのびと育つ社会の実現のためには、外遊びを通じて子どもが自ら育つ「子育て」を応援すると同時に、親たちの「子育て」を応援すること、外遊びに関する社会の理解を深めることもまた大切だと考え、以下の活動に取り組んでまいりました。

- *"自分の責任で自由に遊ぶ"をモットーとしたプレーパーク(冒険遊び場)づくりと運営（渋谷区との協働事業）
- *外遊びの面白さや大切さを感じ、理解を深め、体験できるイベントや出張プレーパーク等の実施
- *外遊びや公園に関する調査
- *子どもの遊びや、子育てに関する講演会や勉強会の実施
- *住民による遊び場づくりへの支援

そして今、この活動を次世代に引き継ぎ、また担っている責任と使命をしっかりと果たすために、一般社団法人として取り組んでいくことといたしました。

これからも、外遊びを通して「子どもがのびのびと育つ社会」を作ることを目指し、会員の方々と共に活動を深めていきたいと思っております。

2022年7月19日
設立代表者 入江 洋子